

FCだより 伊勢招待報告号

2010.01.16

船橋FC2010監督 田積 和明

1月9日、10日に伊勢招待少年サッカー大会に参加してきました。初めての夜行バスによる移動。当日の朝会場に着き、すぐに試合という強行日程。そういう意味でも良い経験になる遠征だったと思います。

試合会場はとてもきれいな人工芝で、フルピッチで2面とれる大きな会場でした。県外からの参加チームはうちを含めて2チーム。もう一チームは岐阜からの参加で、遠くからの参加は船橋FCだけでした。そのせいか、注目度が高く、アップから多くのチームに見学されるという、あまり経験したことのない状況の中で試合が始まりました。

試合は、1日目が予選リーグで、4チームずつ6つのリーグに分かれて予選を戦いました。2日目が予選リーグの順位別リーグとなっており、予選リーグで1位となった船橋FCは1位リーグに進みました。1位抜けしたチームは全部で6チームですので、それを3チームずつ2つのリーグに分け、各リーグで1位になったチーム同士が、決勝戦を戦うという方式でした。各試合の結果は最後に記してありますが、予選は危なげなく突破することができました。しかし、試合内容は良いと言えるものではなく、幾つもの課題が挙げられる内容でした。2日目の1位リーグも全勝を目指していましたが、1勝1分、得失点差で1位という結果に終わり、少し、物足りない内容でしたが、当初の「決勝戦まで駒を進め、優勝する」という目標の達成へは希望をつなぐことができました。そして迎えた決勝戦。選手達の気合いも十分に入った中でホイッスルが吹かれ、試合がスタートしました。しかし、決勝ということでギャラリーが多い中での試合となり、選手の動きもぎこちなく、初失点、初先制点を許してしまいます。ですが、その後早い段階で同点に追いつき、後半に入って追加点が奪えて来るといつものプレーが戻ってきて、6-1というスコアで勝利することができました。

今回の遠征でも幾つかの課題が見つかりました。一つは状況判断です。自分がボールを受けてから何をするのか、何が効果的で、何をすればゴールに結びつくのかということを瞬時に判断することが苦手で、結果、苦し紛れのバックパスになるとということが何度か見られました。ボールを受ける前に判断することや、自分がしたいことを考えてのファーストコントロールができるようになればと思っています。

また、試合での自分達のベース作りも大きな課題の一つと言えます。相手に合わせてプレーしてしまったり、様子を見てしまって後手に回ってしまったりという試合が多く、もっと楽に進められる試合も苦しくしてしまっていることがあります。試合に入る時の気持ちのコントロール、チームとしての意識の向上、また、交代して入る選手の意識の改善を図る必要を感じました。

課題もたくさん見つかりましたが、色々なことにチャレンジできた選手も多く、その意味でも意義深い2日間だったと思います。監督やコーチからの要求に応えようとするプレーが幾つも見られ、今後に期待が持てる伊勢招待でした。

試合結果

予選リーグ

対 大山田 SSS	3	-	0	
対 尾鷲 FC	2	-	0	
対 修道 FC SS	9	-	0	3勝0敗 1位通過

1位リーグ

対 一身田 FC	7	-	0	
対 伊勢 MTK FC	0	-	0	1勝1分 得失点差7 1位通過 (伊勢 MTK FC は得失点差4)

決勝戦

対 桑部 FC	6	-	1
---------	---	---	---



表彰式



最優秀選手賞 海田君



閉会式後 記念撮影